

平成30年度 学校評価表

島根県立吉賀高等学校

「学校経営方針」
地域に根ざした中高一貫教育を推進する県立高校として、地域や保護者との連携を密にし、信頼される魅力と活力ある学校づくりを教職員組織でめざす。

教育目標
1. 主体的に行動し、広い視野をもつ人間の育成
2. 知性に富み、情操豊かな人間の育成
3. 健康で実践力のある人間の育成

評価項目	重点目標	具体的施策	主資料	自己評価 (昨年度)	取組状況と課題	学校関係者評価		改善策
						評価	意見	
1 学力の向上	基礎基本の定着と学習意欲の向上	授業力の向上、不断の授業改善 個に応じた指導 ・個別指導、添削指導	教務評価 生徒・保護者評価	3 (3)	・授業力の向上をめざし、生徒による授業評価を導入した。生徒の困り感や達成感に基づく授業力向上や授業づくりにつなげることができた。 ・評価の適正化の観点より本校の教務規定や内規を各教科で確認していき学習評価の見直しを組織的に行った。 ・家庭学習の定着に向けて、新規に学習習慣シートを発行した。各教科が月ごとに、どのような学習にすれば良いか簡単な目安を示し、全教科を紙ベースにまとめ配布し、家庭学習の質向上を図るものであった。 定期試験前の全学年・全生徒で実施してきた居残り学習を見直し、特別指導を始め、遅進者に対する個別指導を充実させた。	3	・学校と公設塾「よしお塾NEXT」との連携が密であり、生徒が安心して勉強に取り組むことができていた。生徒はそのことで、一層学習の習慣が身についた。 ・町外生、県外生と交わることで、町内生に刺激が与えられ、仲良く学校生活を送ることができている。	・家庭学習については、これまで以上に各学年部と連携し継続的に検討していく。「授業第一」の観点から、授業の質の向上を図っていくために教科主任会や成績会議の活性化を進めていく。 ・多様化する生徒に目を向け、個々の生徒に応じた学習支援を継続的に検討していく。 ・授業評価は、生徒と教員が互い評価し合える機会とするためのものとし、評価を通して双方が向上できるものに進化させていく。
		予習・授業・復習の学習サイクルの確立 ・学習時間調査実施、家庭学習への指導、学習意欲の向上	教務・学年評価	3 (3)		3		
2 基本的な生活習慣の確立	自主的・自律的な生活態度の育成 社会人基礎力の育成 (学校はよい習慣を身につけるところ)	生徒との信頼関係構築と協働 ・挨拶、声かけの励行	生指・生徒・保護者 地域評価	3 (3)	・ふれあい巡回や身だしなみ指導など定期的な指導ができ、多くの生徒が規律を守りつつ、落ち着いた学校生活を送ることができた。生徒の変化の察知やトラブルの未然防止のため、教員間での情報の共有をよりいっそう充実させていく必要がある。 ・携帯電話使用規定や頭髪・服装規定などの改訂を行うことができた。 町外・県外生徒への指導体制も、各部署からの協力・支援に基づき整いつつあるが、日常生活の場面では様々な課題が残っている。 ・生徒支援部会や生徒支援委員会の適宜開催によって、配慮の必要な生徒の情報共有が図られ、外部機関と連携をとりながら生徒の課題に組織的に対応することができた。	3	・QUアンケートや安全安心アンケートの実施により、生徒の内面の不安などを把握し、問題の早期発見や未然防止を進めていく必要がある。また、心身の不安定な生徒に対する継続的な観察や支援など情報共有と共通理解を一層深め、組織的な対応を目指していく。 ・全教職員で積極的に生徒に関わり、生徒一人ひとりが学校・地域社会の担い手という意識を高め、さわやかな学校生活、交流センターでの生活が送れるよう指導していく。 ・ケースにより窓口をはっきりさせ、組織的に対応できるよう体制の整備を行う。生徒指導部内や学年会との情報共有を行い、適切な対応ができるようにしていく。	
		自律的な生活態度の育成 安全・安心な学校環境の整備	生指・生徒・保護者 地域評価	3 (3)		3		
		教育相談活動の充実 ・必要な生徒への個別支援	生指・保健評価 生徒・保護者評価	3 (4)		3		
3 部活動・学校行事の奨励	部活動の活性化 生徒会活動の活性化	積極的参加の奨励 ・地域活動への参加	生指・学年評価 地域・保護者・生徒評価	3 (3)	・多くの生徒が部活動に加入し、日々の活動に積極的に取り組んでいるが、特に男子で体育系の部活動に加入する生徒が少なくなっているという現状がある。また、地域クラブを中心に地域の活動やボランティア活動に取り組むことができた。 ・生徒会役員を中心に学校行事や生徒会活動が行われ、彼らの独創性や自主性が発揮された活動ができた。時期によって、生徒会役員に大きな負担をかけることになっていることがあった。	3	・3年前の岡田氏に引き続き、北澤氏の講演会が開催され、町内全中学生が聴衆、またサンフレッチェのトレーナーによるストレッチ講習会も中学生参加型で開催するなど、中高一貫教育事業としての部活動の取り組みも活発であった。 ・また地域クラブとして、地域の各種活動に積極的に企画、参加している住民として喜ばしい。	
		学校行事の活性化 ・集団としての教育力の形成	生指・学年評価・生徒評価	3 (4)		3		
4 進路指導の徹底	キャリア教育(S.D.P)の充実と進路目標設定の支援	キャリア教育の充実	進路・教務	3 (3)	・アントレプレナーシップ教育の充実により、様々な視点から自分の将来を考える機会が多くなったと考える。 ・また進路実現のため、全教職員が一人一人の生徒に応じた指導を行い、概ね成果を得られることができた。 ・生徒の実態に応じて何をすべきかを、教員間で共通の理解をもつため、進路検討会、模試分析を行ってきた。就職試験や専門学校進学に對しての指導はきめ細かくできるが、4年制大学進学に関しては、まだまだ教員の指導力不足を感じる。指導力向上のため、模試分析、入試分析を各教科ですっかりと行い、生徒に応じた学力到達目標を定め、効果的指導を行えるよう自己研鑽が必要である。 ・2021年度入試に向けた対策、取り組みを実施していかなければならないが、なかなか体制を整えることができなかった。	3	・町主催のサクラマスプロジェクト報告会で、高校生が自分の思いをきちんと自分の言葉で発していた。またキャリア教育成果発表会では、たくさん聴衆の前で、堂々と発表していた。小・中学生から知っている者として、成長が著しい。 ・自ら地域課題に取り組み、地元商店との共同開発をして商品化に着手する活躍はめざましい。	
		適切な進路情報の提供	進路・学年評価 生徒評価	3 (3)		3		
		補習・放課後学習会等進路実現のための支援	進路・学年評価 保護者・地域評価	3 (4)		4		
		進路実現への支援	進路・学年評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		
5 人権・同和教育の推進	互いの人権を尊重する人間関係づくり・集団づくり	HRでの指導の充実 他者の尊重、教職員による人権意識高揚の働きかけ	人権・同和教育評価 学年評価	3 (3)	・人権・同和教育HRだけでなく、学校や交流センターでの生活全般にわたり、他者の人権を尊重し、よりよい自分のあり方を模索するための意識付けをすることができた。学校行事や部活動を通して、個々の生徒の個性が大切にされ、それをお互いが尊重し受け入れる雰囲気が出てきている。 ・町内小中学校の人権・同和教育HRが公開されていないために、近場でのHR参観を呼びかけることができなかった。	3	・保護者と生徒と教員と合同研修で、施設を訪問するなど活発に活動した。保護者も人権・同和教育を多数参観するなど、自己啓発に取り組んでいた。 ・生徒が学校生活に窮屈な感情を抱かないように配慮しつつ、共同生活を送る上で必要なルールやマナーの遵守が、結果として自他を大切にすることにつながることを日常生活を通して伝えていく。 ・町内小中学校に人権・同和教育HRの案内を出していただくよう依頼し、町内でのHR参観機会を増やしていく。校内で行う人権・同和教育HRの学習指導案では、担当教員が柔軟に内容を検討できるよう配慮していく。	
		教職員・保護者研修の充実	人権・同和教育評価	4 (3)		4		
6 中高一貫教育の推進	「ねらい」を共有した活動により信頼関係を高める	推進重点事項の設定と実施	中高一貫教育アンケート	3 (3)	・交流活動などへの認識と評価は高まっている。各校の活動が、全体として吉賀町サクラマスプロジェクトの流れにつながっていくよう、取り組みを工夫・充実していく必要がある。	3	・サクラマスプロジェクトの理念と中高一貫教育のもと、行事・部活動・地域活動で中学と高校がより繋がっている。 ・吉高生の成長した姿、吉高の魅力を発信できる活動を一層展開する。情報発信をより効果的に実施する。高校生が、中学校へ出かけていき、様々な場面で交流を深める。	
7 魅力と活力ある学校づくり	サクラマス・ドリーム・プログラムの立案と実施	町と連携した活動の推進	生指・総務評価 生徒・保護者・地域評価	4 (4)	・PTA活動、各行事等、例年と同様に行ってきたつもりだったが、「地域、保護者の願い」「PTA活動の活性化」「情報提供」の項目の評価低下に配慮が必要がある。PTA活動については、保護者と教職員が願いを共有できる場の設定が必要である。 ・「情報提供」については、例年以上に行っており、HP更新は昨年度より頻度が上がっている。ケーブルテレビを上手に利用していく。	4	・県外受検生の増加には驚いた。毎月の学校通信がよりビジュアル化して、読みやすくなった。 ・PTA総会時に、保護者・教職員合同研修を実施することで、総会参加者の増を図り、信頼関係の構築に取り組む。 ・これまで以上に町と連携したアントレ活動を推進する。 ・行事ごとにこまめに広報活動を行い、広く周知を図る。	
		学校の情報を地域・保護者に十分に伝える	総務評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		
8 学校安全管理	危機管理意識の高揚と安全な生活環境の確保	防災避難訓練の計画的実施	総務評価	3 (3)	・消防署と連携し、避難訓練や防災活動、応急手当講習を適切に行った。 ・毎学期の安全点検により、危険箇所の改善に取り組んだ。	3	・吉賀町の避難場所になっているので、非常時の体制について普段から準備願う。 ・避難訓練の内容を見直し、生徒の防災意識を高める。	
		安全点検の計画的実施	生指評価 生徒・保護者・地域評価	3 (3)		3		

【評価】 4：十分達成できた 3：概ね達成できた 2：やや不十分であった 1：全く不十分で達成できなかった